

人を、想う力。街を、想う力。



2017年5月10日

関係各位

会社名 三菱地所株式会社  
代表者名 執行役社長 吉田 淳一  
コード番号 8802  
問合せ先 広報部長 川崎 正人  
(TEL 03-3287-5200)

剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、2017年5月10日開催の取締役会において、下記のとおり、2017年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2017年3月期 期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2017年2月6日公表)	前期実績 (2016年3月期)
基準日	2017年3月31日	同左	2016年3月31日
1株当たり配当金	11円	9円	9円
配当金総額	15,264百万円	—	12,486百万円
効力発生日	2017年6月30日	—	2016年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、丸の内再構築をはじめとする今後の事業展開に伴う資金需要にも配慮しつつ、配当を中心に、株主各位に対する安定的な利益還元を努めていくことを利益配分の基本方針とし、業績の水準等を総合的に勘案しながら、連結配当性向25%から30%程度を目処として、決定して参りたいと考えております。

2017年3月期につきましては、中間配当金を1株につき9円としましたが、2017年3月期連結決算において親会社株主に帰属する当期純利益が前期から大幅に増益となりましたので、期末配当金については直近の配当予想から1株当たり2円増配し、1株当たり11円とする予定であります（1株当たり年間配当金は20円）。

なお、本件は2017年6月29日開催予定の第118回定時株主総会に付議する予定であります。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株あたりの配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	9円	11円	20円
前期実績 (2016年3月期)	7円	9円	16円

(参考) 2018年3月期につきましても、今後の見通し及び上記配当方針を総合的に勘案した結果、中間配当金、期末配当金をそれぞれ10円とし、前期同様に1株当たり年間配当金は20円とする計画であります。

以上